

2024年11月6日

各位

地域文化活動助成制度の第66回助成先が決定！

～「草の根」文化活動をお手伝いして32年～

株式会社伊予銀行(頭取 三好 賢治)は、第66回 地域文化活動助成制度の助成先を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本制度は、愛媛県内で文化活動を継続しておられる皆さま方に対し、活動経費の一部を助成させていただくことで、地域独自の伝統文化の継承や地域生活文化の水準向上に寄与することを目的としています。今回は17先に総額405万円を助成いたします。

本制度は1992年から年間2回の助成を32年にわたって実施しており、今回分を含めた累計は、先数で1,368先、総額約2億6千6百万円となります(「平成30年7月豪雨」被災団体対象 特別助成15先、747万円を含む)。

記

〔第66回 地域文化活動助成制度の概要〕

- 助成先数 17先
- 助成金額 総額405万円
- 助成金贈呈式 松山市で開催(詳細は別紙をご参照ください。)
- 助成先(分野別、順不同、敬称略)

音楽分野 (4先) <ul style="list-style-type: none">・新居浜市民吹奏楽団(新居浜市)・真鍋豊平一絃琴保存会(四国中央市)・保内合唱団(八幡浜市)・八幡浜合唱団(八幡浜市)	郷土芸能分野 (9先) <ul style="list-style-type: none">・山西町お神楽保存会(松山市)・浮嶋神社秋祭り奉賛会(東温市)・神宮獅子舞保存会(今治市)・桜井浜獅子保存会(今治市)・原八幡大神社獅子舞保存会(今治市)・宗方權伝馬実行委員会(今治市)・夢華神楽社中(西条市)・穴井神楽保存会(八幡浜市)・野村相撲甚句会(西予市)
演劇分野 (1先) <ul style="list-style-type: none">・人形芝居ひめ(今治市)	
文芸分野 (1先) <ul style="list-style-type: none">・にいしま川柳会(新居浜市)	
創作芸能分野 (2先) <ul style="list-style-type: none">・沖浦太鼓(大洲市)・みかめレクリエーション協会(西予市)	

以上

【助成金贈呈式】

○日 時

2024年11月20日(水) 10:00～12:30

○場 所

リジェール松山 7階「ゴールドホール」

○式 次 第

- 10:00 出席者紹介
当行代表挨拶
- 10:05 助成金目録・賞状贈呈
- 10:30 伊予銀行文化振興顧問団委員祝辞
- 10:35 助成団体の活動映像紹介・質疑応答
- 11:45 記念撮影
- 12:25 閉式挨拶
- 12:30 閉式

○出 席 者

- 助成団体先の各代表者様
- 伊予銀行文化振興顧問団委員 (子規記念博物館 総館長 竹田 美喜氏 他4名)
- 当行取締役会長 大塚 岩男
- 当行取締役頭取 三好 賢治
- 当行専務取締役 長田 浩
- 当行推薦店支店長

以 上

助成団体・助成内容の一例ご紹介

宗方權伝馬実行委員会 様 （助成対象：權伝馬船の權新調）

宗方權伝馬実行委員会様は、過疎化や高齢化により中断していた神事「十七夜祭」を、2013年に本来の形を継承したイベントとして復活させました。

総勢15名が乗り込んだ權伝馬船3艘が、互いの様子を見ながら、抜く抜かさぬの技の応酬を繰り広げる勇壮な漕ぎ比べと華やかな衣装を纏った子どもが優雅に舞う姿が見る人を楽しませます。近年は少子化や後継者不足が問題となっていますが、開催日を帰省者が参加しやすいお盆に変更するなどの対策を行い、その存続に努められています。



人形芝居ひめ様 （助成対象：音響機器購入）

人形芝居ひめ様は、今治の特産であるタオルを素材とした手作りの人形を使った、あたたかみのある人形劇を通じて、地域の子どもの笑顔や、親子の会話が増えることを願い1997年に結成されました。

毎年12月の第1日曜日に今治市中央公民館で開催される単独公演は大変人気があり、幼児や小学校低学年を中心に毎回300名以上が集まります。40回目となる今年の公演は、今治タオルやミカンなど地元の名産品が登場する演目の上演や公演終了後に子ども達が人形と触れ合う時間を設ける予定です。



穴井神楽保存会 様 （助成対象：神楽面・道具類・衣装の新調）

穴井神楽は、江戸時代に穴井天満神社に伝わった神楽が、明治末期から大正初期にかけて近隣住民に伝授されたもので、八幡浜地区の神楽の起源とされており、少なくとも200～300年の伝統があると伝えられています。1973年に結成された保存会は、高齢化や地域の人口減少により一度解散となりましたが、地元若手有志により、神楽を継承しようという機運が高まり、2019年に活動を再開しました。コロナ禍を乗り越え2022年には新メンバーによる神楽がお披露目されるなど活動も本格化し、徐々に演目を増やすことを目標に練習を続けています。

